

# 運輸安全マネジメントレビュー議事録

作成日 2023年3月2日 作成者 堀田栄一



実施日時	2023年3月2日(金)	
参加メンバー	宮田めぐみ社長、(代表取締役・安全統括管理者)、寺岡克秀(運行管理者)、長谷川裕規(運行管理者)、大嶋正夫(整備管理者)福田美菜子(運行管理者)、鈴木喜美子(運行管理者)、和地秀典(教育)、五月女修(運行管理者)	
配布資料	① 安全目標(2022年度)②投資計画・報告(2022年度) ③ 教育実施スケジュール(2022年度)④安全評価認定更新準備書類 他、次年度計画等	
<マネジメントレビューへのインプット情報>		
<<項目>>	<<内容>>	
a)安全監査結果	・点呼記録簿の印漏れがありました。(運行管理) ・年間乗務員教育の実施に問題があります。未受講補正は3カ月以内とされたい。 ・急な車両変更時、運行指示書の車番を変更後の車番に修正して保管ください。	
b)顧客からのフィードバック	・お客様からは、丁寧な安全運転有難うございます。とのお褒めをいただいた。 ・我々乗客の安全誘導を運転士さんに行っていた。とのお褒めをいただいた。	
c)法制度の改正による影響	・2024年の労働時間管理に向けて取り組みが急務である。 ・分割休息は例外の運用であることを再度認識する。	
d)社会情勢・業界の変化について	・新型コロナウイルス対策の緩和によって、見積依頼や仮予約が増加している。 ・安全の為の投資には高額な費用を必要とすることから、下限運賃近くから上限運賃に近い運賃にシフトしていく必要がある。	
e)前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ	・教育部を立ち上げた結果、様々な反省があり次年度は改善する必要がある。	
f)安全計画の達成度	・整備対象車両に対して重整備計画があるが、運行計画上整備ができていない。 ・安全計画によるデジタルタコグラフ装置の入替えが遅れている。	
g)改善のための提案	・内部監査チェックを四半期毎に実施し、PDCAを早く回すよう次年度は行動する。	
<マネジメントレビューからのアウトプット>		
a)運輸安全マネジメントの有効性の改善	・経営者を交えた共有会議の回数を増やし、現状分析から改善行動へのピッチを上げる。 ・改善事項はチームで取組む事とし、改善までの速度を上げていく。	
b)サービスの改善	・運転品質向上の訓練や講習の受講により安全運転技術の向上を図る。 ・異業種への研修等を計画し対応品質の向上を図る。	
c)資源の必要性	・安全装置が充実した新型車両への代替を促進されたい。 ・デジタルタコグラフのリニューアルにて、個別車両へのフレキシブルな運行管理を行う。	
d)その他	・教育受講について、eラーニングでの受講も可としているので、教育受講進捗を格段に上げて、他の訓練や演習等に力を入れたい。	
<経営者による指示事項>	次年度は、デジタルタコグラフの大幅な入れ替えによる管理強化及び、教育部の組織変更によって新たな訓練や演習等の実施によって、乗務員の大幅なスキルアップと事故抑制に期待したい。	